

くにたちえきひろ大学 ワークショップ実施報告

○日時

2026 年 6 月 7 日（日） 14:00～17:00

○場所

国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ

○参加者

出席者 26 名（応募申込者 31 名、辞退者 2 名、当日欠席者 3 名）

○実施目的

1) 活動の担い手を育む

- ・ WS や社会実験を通じて駅前広場が活動の場であることの認識を広げていく
- ・ 駅前広場での活動へのニーズを確認し、関わりたい人の発掘につなげる

2) 運営の担い手を育む

- ・ 現在駅前広場の運営に関わっている人や団体にも情報共有しながら、今後の運営の可能性を模索する
- ・ 今後の駅前広場の運営を見据え、観光まちづくり協会と意見交換しながら一緒に活動を支える仕組みづくりを模索する。

○当日の流れ

国上市より、これまでの国立駅南口駅前広場整備の取組や、整備コンセプト、計画概要等について説明し、くにたちえきひろ大学のメンターとゲストによるトークセッションを通じて、参加者が所属する部活を決定した。その後、各部活ごとにやってみたいことのアイディア出しを行い、今後の活動予定を検討し、各部活ごとに話し合った内容を全体で共有した。今回出し合ったアイディアは、今後の活動内容に活かしていく。

○当日の様子



メンター・ゲストによるトークセッション



- ①メンター、ゲストによるトークセッション（パネルディスカッション）を行った。
- ②各部活のテーマの視点で国立駅南口駅前広場におけるそれぞれの活動の可能性について話をした。
- ③その内容を踏まえて参加者に所属部活を決めていただいた。
- ④各部活のメンター・ゲストと、所属人数及び司会進行は以下のとおり。

○各部活のメンター・ゲストと所属人数

部活	メンター	ゲスト	所属人数※
園芸	・和久倫也（WAKUWORKS）	・友光亮太（草道）	・10名
宮繕さんぽ	・能作淳平（JUNPEI NOUSAKU ARCHITECTS）	・萩原修（つくし文具店）	・10名
発信記録	・加藤健介（三画舎）	・磯貝久美子（国立市観光まちづくり協会）	・6名

※ワークショップ出席者の所属人数。今後、ワークショップの欠席者が入る可能性もある。

○司会進行

- ・野淵幹生（石塚計画デザイン事務所）

全体まとめ「3つの部活の楽しみ方や、可能性」

● 園芸

- ・園芸部の活動は、すでに緑の多い国立駅南口駅前広場において、**市民が緑に気軽にに関わり、手入れをするきっかけとなり**、また、プロから緑の手入れの仕方を学ぶことによって、**適切に手入れができるようになることが期待される**。
- ・植物の手入れを通して、**主体的にまちに関わる**ことで、まちへの愛着が生まれる。
- ・「**食べられる植物**」があると、さらに関わるハードルが下がる可能性がある。

● 発信・記録

- ・これからの100年に向けては、国立駅南口駅前広場を行き交う多様な人々や、一本一本異なる桜の木など、**日常のささやかな風景や小さな変化を観察し記録していくことが重要**。
- ・**情報を発信し続ける**ことが、人や情報を惹きつけ、**新たなイベントや繋がりが生まれる可能性**がある。

● 営繕・さんぽ

- ・国立駅前は北口も含め、**8方向からの道が交わる場所である**という特性を踏まえ、国立駅南口駅前広場は**普段交わらない人々が物理的に交差し、関わり合える交流地点**になりうる。今ある時計や手すりなどに目を向けて、そこに何があったら良いかを考えられると良い。

以下、発言ベースの詳細記録

—「園芸」の活動の可能性

○園芸（和久） |

- ・国立駅南口駅前広場は他の場所と比べて緑の量が多い。可動式緑化ベンチが置かれたり、長い間円形公園や桜の足元に花を植える活動がなされていたり、大学通りでボランティアが花を植えていたり、すでに様々な活動がなされている。それに対してさらにどういう展開ができるのか楽しみである。
- ・一人ではなくプロから手入れの仕方や既存の植物に対する見方、育む方向での手入れの仕方を学ぶことで、自分の家や今後の国立駅南口駅前広場での植物を育む活動を継続していけるような流れが生まれると嬉しい。

○園芸（友光） |

- ・くにたちえきひろ大学の活動において、円形公園に入れる可能性があるのはワクワクする。

- ・自宅など身の回りの庭と、駅前広場で行う手入れにつながる実感があるとより植物について知りたくなるはずである。草は何千万とあるが、一つの草でも何に使えるか、名前、由来などチャームポイントを一つ知るだけでも解像度は上がる。
- ・邪魔にしていたものが愛でられるものになるというのは人の反応として感動的であり、解像度が上がれば暮らしが豊かになりそう。

○宮緒・さんぽ（能作）

- ・国立はのどかな街であるが中央線が通っており、人の通りも多くて気楽である。そこで部活のような緩い関わり方ができるのは贅沢であり良いところである。
- ・生活の中で単に通るだけでなくちょっと関わるとか、自分の生活の一部だと思えるような余白があると興味を持つ。公的な場所だからカチッとした活動でなければいけないわけではなく、自分の生活の延長として気楽に関われるのは魅力である。

○宮緒・さんぽ（萩原）

- ・園芸に関わる前は自然に興味がなかったが、数年前から急に興味が湧いた。駅にどんな植物があったら良いか一緒に考える人が増えたら良い。
- ・植物の剪定はとても楽しい。自然を守るというと手をつけてはいけない形になりがちだが、どう活用するか、どう手入れするかを考えると、大工仕事よりも簡単に切れたり抜けたりして見た目も変わる。みんなで手入れするのは宮緒より気楽で良い。

○発信・記録（加藤）

- ・食べられるという分かりやすさはハードルが低く、散歩しながら食べるなども良い。オリーブの木があると聞いたが分からなかったため、知る機会になるというのは良いことである。

—「発信・記録」の活動の可能性

○発信・記録（加藤）

- ・記録するという意味でも、国立駅南口駅前広場を見ていく中で記録するのは良い方法である。昨日駅舎の2階から外を眺めていたら、高校生がたくさん歩いていた、ずっと佇んでいる方がいたり、夜は子どもがベンチに座って楽しそうにしていたりと、様々な人がいることに気づいた。1つ1つの視点を探っていくと面白いものがいっぱい、そういった面白さを発信するのは大切である。

○発信・記録（磯貝）

- ・記録という点では、過去に一橋大学前の桜の木が台風で倒れたことがあり、あると思っていた風景がなくなることショックを受けた。次の年に大学通りの桜の木を一本一本撮影した。桜の木は一本一本違うので、植物は季節のものでもあるし、ささやかな風景を記録していく重要性を感じている。

○営繕・さんぽ（能作）

- ・記録となると正当な歴史を記録しがちだが、一本ずつ違うというような小さな記録も同じくらい大事で、それを発信してみるのには発見がありそうである。

○営繕・さんぽ（萩原）

- ・情報発信していると人が寄ってきてイベントができたり様々なことに繋がったりする。発信している人に情報が集まるので、情報を発信し続けることは非常に大事である。

○発信・記録（加藤）

- ・情報が集まる場を作っていくことは大切である。お米屋さんをやって米というテーマを掲げたら、米に関する情報が多数入ってきた。今回もどのような場所にしていきたいか考えていくと国立の情報が集まってきたり、関わりたい人が増えてきたりするのではないか。

○営繕・さんぽ（能作）

- ・物理的な情報が集まる場所や待ち合わせ場所のようなものが駅前にはある。

—「営繕・さんぽ」の活動の可能性

○営繕・さんぽ（萩原）

- ・国立駅南口駅前広場のことをどう見ているか。旧国立駅舎があり、円形公園には時計があるが、いつ誰が作ったのか。時計や手すりなど、駅前広場にある人工物を見ていくのも営繕の役割である。
- ・国立駅南口駅前広場は、大学通り、旭通り、富士見通り以外に、信号のない横断歩道から東西に線路沿いの道がまっすぐ走っている。また改札からの道もあり、計8つの方向に、放射線状に道がのびている。そこから人が来ていることを意識すると、それぞれから来ている人が交流する場所だと認識できる。そこに何があったら良いかを考えたい。

○進行

- ・普段交わらないような人が物理的に交わる場所で、それぞれ解像度高く関われると良い。

—3つの部活の楽しみ方

○園芸（友光）

- ・国立に住んでいて、座る人が多い街だと思っており、時間の流れ方がゆっくりしていると感じる。
- ・植物に対してはお世話が愛を表現する一番単純な作業である。自分で選んで植えてお世話をする事で、自分の中に刻まれて愛のある場所になる。

○園芸（和久）

- ・それぞれの気づきや体験が、参加者だけでなく国立市民や駅前を日常的に使っている人たちに展開していける部活動になると嬉しい。
- ・8つの道から国立駅南口駅前広場に繋がっているという意味で、国立駅南口駅前広場に繋がる道の先や道沿いの情報、散歩、園芸などにも気にかけてみると面白い。

○営繕・さんぽ（能作）

- ・「営繕」という言葉は聞き慣れないかもしれないが、簡単に言うと街のメンテナンスやお世話という意味合いであり、さんぽと合わせたのは楽しく取り組みたい思いからである。
- ・掃除や草抜きなどは大変な側面もあるが、なるべく楽しくできると良い。
- ・さんぽをしてコーヒーを飲んでおしゃべりをするついでに、ゴミを少し拾ってその場所を綺麗にしたり、どうすればベンチに座りたくなるか考えてみる、といった気楽なところから始めたい。

○営繕・さんぽ（萩原）

- ・長年大学通りを利用して生活してきたが、国立市に税金を納めておらず環境をただで使わせてもらっていることに気づいた。使う人がみんなでお金と知恵と手間をかけて場所を良くしていくような部活になればと思っている。

○発信・記録（磯貝）

- ・地域の情報は自分たちで発信していかなければならず、ものすごく危機感を持っている。他の部活とは違い、緩さだけではなく熱量のある部活になるかと思う。

○発信・記録（加藤）

- ・ネット情報として発信するとアーカイブがなくなってしまうこともあるため、情報をどう繋げて残していくかという視点が大切である。
- ・国立は個人の集合であり、活動を面白いと捉える視点も実は個人にある。参加者それぞれの目線が大切であり、自分で面白さを感じるものを一緒に掘っていけると良い。それが100年後に残っているかは分からないが、国立の大切な記録になるはずである。
- ・肩肘張らず柔らかく気軽な発信を通じて、その先にも繋がりそうなものを一緒に目指していくとより楽しい活動になると思う。

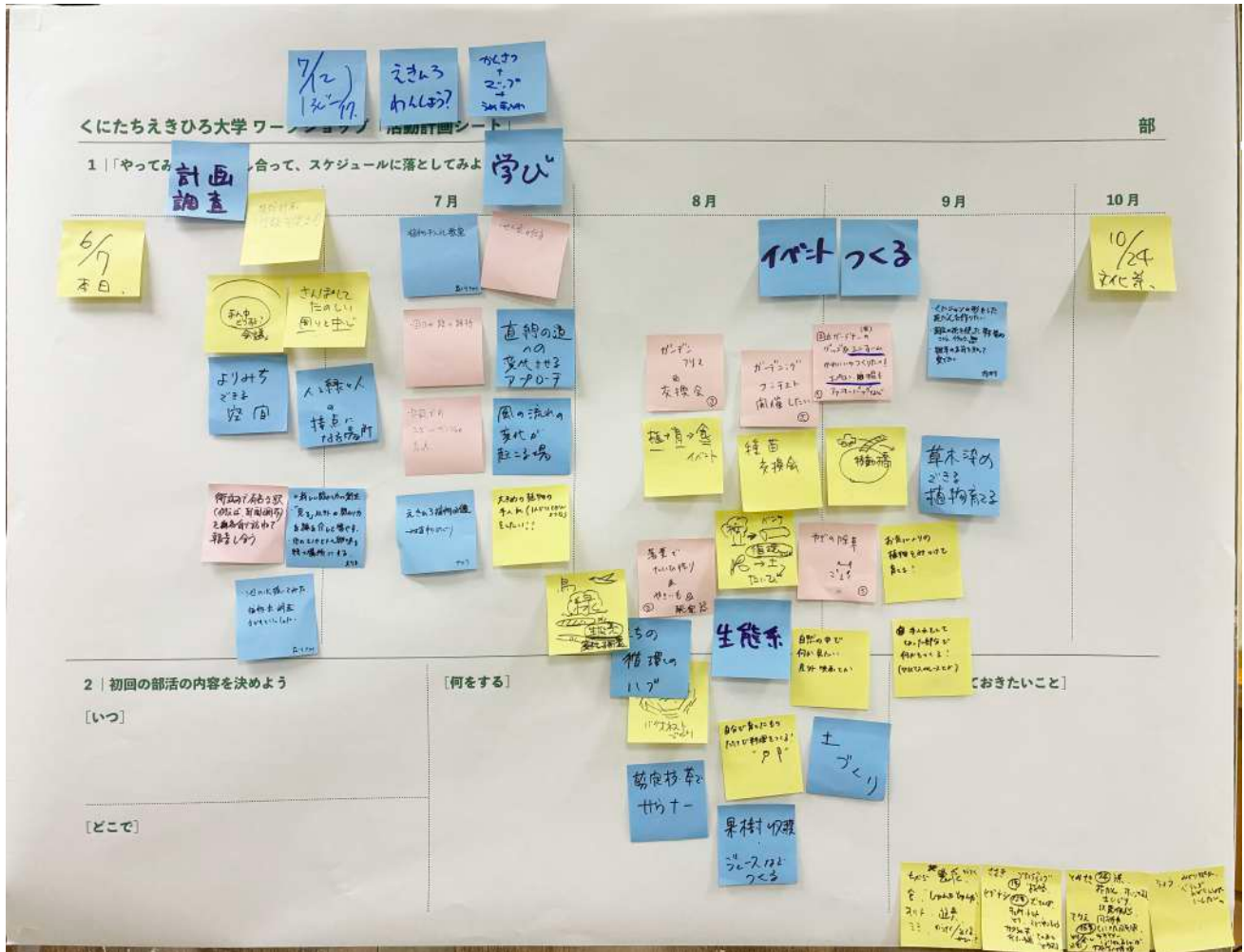
○進行（野淵）

- ・部活のメンバーがコアメンバーとなり、国立市民に広がっていくと良い。3つの部活は分かれるが、それぞれが関係して応援し合う関係になると良い。

部活ごとの意見交換記録

「園芸」部記録

メンバー | 10名



1 「やってみたい」活動アイデア

計画調査

- 植栽計画
 - ・種類や配置などを考える
- まん中どうする？会議
- よりみちできる空間
- さんぼしてたのしい周りと中心
- 人と緑と人の接点になる場所
- 街並みで有名な駅（例えば田園調布）を各自訪ねて報告し合う
- 新しい関わり方の創生

- ・「見る」以外の関わり方を緑を介して増やす
- ・他のモノやヒトへの興味を持つ場所にする

○池の水抜いてみた

- ・植物、虫、調査
- ・子どもといっしょに

学び

- 植物の手入れ教室
- 剪定の仕方
- 国立の緑の維持
- 直線の道を変化させるアプローチ
- 家庭でのユズとかサンショウの育て方
- 風の流れの変化が起こる場
- えきひろ植物図鑑
 - ・植物めぐり
- 1人ではできないような大きめの植物の手入れをしたい
- 鳥、緑、水、生態系の変化調査
- 雑草の名前を知って愛でたい

イベント

- ガーデンフリマ&交換会
- ガーデニングコンテストをしたい
- 植→育→食イベント
- 屋外映画とか、自然の中で何かみたい

まちの循環ハブ、生態系

- 種苗交換会
- 落葉でたいひ作り&やきいも&発電機
- 桜の木はベンチに、落葉は堆肥として循環させる
- やぎの除草
- バイオネスト
- 自分で育てたものだけで料理をつくる
- 剪定枝や草を活用したサウナ

○果樹を収穫し、ジュースなどをつくる

○土づくり

つくる

○国立ガーデナー（仮）のグッズ&ユニフォームをつくる

・かわいいのつくりたい！

・エプロン、帽子、ファーマーバッグなど

○円形公園への移動橋をつくる

○お気に入りの植物を見つけて育てる

○くにニャンの形をした花だんをつくりたい

○桜、イチョウなど国立の植物を使った草木染

○草木染できる植物を育てる

○手入れをして切った部分で何かをつくる

・クリスマスのリースとか

2 初回の部活の内容を考えよう

いつ	どこで	何を
2026 年 7 月 12 日（日）	国立駅南口駅前広場（円形公園にも入りたい）	植栽空間を観察・体感をしながら、植栽の種類や気づきをマップ化する

メンバー | 10 名



○梅の観察とさんぽ
○ごみ拾い+イベント・ゲーム
↓
○さんぽ、とどまる（お茶、お弁当）
○ねる
○野草探し、園芸と連携？
↓
○さんぽ・交流（インタビュー、発信）
○コンペ
↓
発表

さんぽ：観察する

- 定点観察
 - ・何がみえる？わかる？
- 時間帯に分けて街を行き交う、街で過ごす人たちを観察してみる
 - ・駅前
 - ・マイナースポット

さんぽ：ゴミ拾い

- ゴミ拾いをしながら国立駅周辺の現状を知って気づきを話し合う
- もっとこうなったらいいなを探すさんぽ＆ゴミ拾い
- ごみ ・ 吸い殻マッピング

さんぽ：探検、発見

- 円形公園をさんぽする
- 円形広場への探検
- 円形公園の梅の実ひろい
- 自分が好きだと思う国立らしさを見つけて共有する
- さんぽしながらお気に入りの風景を写真に撮る
- テーマ付探すさんぽ
- 外装がイイネ！な建物探し＆マッピング
- 野草ハント
- 街歩き＋α（歴史、名所）
- どうぶつ発見
- さんぽして桜と銀杏以外の木を見つける（発見）

さんぽ：つくる

- 歩いてなにかつくる（これほしい！）
- ぎんなん→料理
- 野草の調理会

さんぽ：とどまる

- 手作り弁当どこで食べれるチャレンジ
- 大ピクニック会
- 昼寝
- ストリート茶会（イス持参）
- 犬と一緒に休けいやお茶ができる
- 弾き語り（ゲリラ）

さんぽ：紹介する、記録する

- 魅力的なスポットの紹介文を作成
- カフェ MAP
- 地元で頑張り続けている味のあるお店、個人店をのぞいて話を聞いてみたい
 - ・街の変化を知る
- スキマ写真展、へんな写真展
- オススメスポットがマップ化されて訪れたくなるような街

さんぽ：その他

- どうすれば生活環境が良くなるか
- ぐるぐるパレート

営繕：メンテナンス

- 市民も参加できるゴミ拾い
- 旧駅舎のまわりの雑草抜き（夏）
- 街灯のメンテ

営繕：つくる

- 色んなカベ撤去
- ソーダ・ファウンテンづくり
- 古い&残したい&壊れそうな建物情報を共有
- 待ち合わせ用の変なオブジェを建てる
- 採取からのものづくり
- 屋台
- フリマ

営繕：防災

- 災害時の対応や防災について考える
 - ・フェーズフリーの考え方で何かできないか
 - ・帰宅困難者対策
 - ・コミュニティ FM などの情報発信
 - ・防災ベンチなど

営繕：倉庫

- 倉庫を倉庫にしない！
 - ・背面の壁のデザイン、活用方法を考える
 - ・10/24 文化祭で活用イメージ発表 or 模擬実装

その他

- 平日の夜とかで少しお酒を飲めたりたたずめるスポットづくり
- ロータリー全部使ってビアガーデン or 盆おどり
- 優良事例収集（住みたくなる街）
- ZINE にする、発表会
- たき火
- 梅雨にでてるてるぼうずパーティ
- ナイトクラブ
- 大月見大会
- play park（モルック）
- 映画
- 本棚と + α
- 丘の上の森のクラブハウス
- ワラシベ
- モニュメントや色の統一などまちづくりへの反映

2 初回の部活の内容を考えよう

いつ	どこで	何を
2026 年 6 月 21 日（日） 18:00～	国立駅前広場全体 集合：旧国立駅舎	①ゴミ拾い ②観察系 カメラ、地図 ③イスに座ってとどまる（お茶する） それぞれ 30% くらいの割合で実施する

「発信・記録」部記録

メンバー | 6名

ひろ大学 ワークショップ「活動計画シート」

1 | 「やってみたい」を出し合って、スケジュールに落としてみよう

2 | 初回の部活の内容を決めよう

3 | 確認しておきたいこと

4 | 何をする

5 | 何をしていいか考える

6 | 何かつまみずけておろ!

7 | 1人でやってみて

8 | 発信・記録部

9 | 発信・記録部

10 | 発信・記録部

11 | 発信・記録部

12 | 発信・記録部

13 | 発信・記録部

14 | 発信・記録部

15 | 発信・記録部

16 | 発信・記録部

17 | 発信・記録部

18 | 発信・記録部

19 | 発信・記録部

20 | 発信・記録部

21 | 発信・記録部

22 | 発信・記録部

23 | 発信・記録部

24 | 発信・記録部

25 | 発信・記録部

26 | 発信・記録部

27 | 発信・記録部

28 | 発信・記録部

29 | 発信・記録部

30 | 発信・記録部

31 | 発信・記録部

32 | 発信・記録部

33 | 発信・記録部

34 | 発信・記録部

35 | 発信・記録部

36 | 発信・記録部

37 | 発信・記録部

38 | 発信・記録部

39 | 発信・記録部

40 | 発信・記録部

41 | 発信・記録部

42 | 発信・記録部

43 | 発信・記録部

44 | 発信・記録部

45 | 発信・記録部

46 | 発信・記録部

47 | 発信・記録部

48 | 発信・記録部

49 | 発信・記録部

50 | 発信・記録部

51 | 発信・記録部

52 | 発信・記録部

53 | 発信・記録部

54 | 発信・記録部

55 | 発信・記録部

56 | 発信・記録部

57 | 発信・記録部

58 | 発信・記録部

59 | 発信・記録部

60 | 発信・記録部

61 | 発信・記録部

62 | 発信・記録部

63 | 発信・記録部

64 | 発信・記録部

65 | 発信・記録部

66 | 発信・記録部

67 | 発信・記録部

68 | 発信・記録部

69 | 発信・記録部

70 | 発信・記録部

71 | 発信・記録部

72 | 発信・記録部

73 | 発信・記録部

74 | 発信・記録部

75 | 発信・記録部

76 | 発信・記録部

77 | 発信・記録部

78 | 発信・記録部

79 | 発信・記録部

80 | 発信・記録部

81 | 発信・記録部

82 | 発信・記録部

83 | 発信・記録部

84 | 発信・記録部

85 | 発信・記録部

86 | 発信・記録部

87 | 発信・記録部

88 | 発信・記録部

89 | 発信・記録部

90 | 発信・記録部

91 | 発信・記録部

92 | 発信・記録部

93 | 発信・記録部

94 | 発信・記録部

95 | 発信・記録部

96 | 発信・記録部

97 | 発信・記録部

98 | 発信・記録部

99 | 発信・記録部

100 | 発信・記録部

1 「やってみたい」活動アイデア

どのように発信するか?

○媒体アイデアは、誰に発信するかで変わる

- ・ インスタ
- ・ ポスター
- ・ ポッドキャスト or ラジオ

○駅前の看板に QR コードを貼っておく

活動の方向性

○自分たちの発信、他のチームの取材の二本柱で考える

活動アイデア

○街頭インタビューと観察をする

- ・ 街頭インタビューもあり？
- ・ 広場のベンチにいる人へのインタビュー
- ・ NHK の 72H みたいな
- ・ 何しに来ました？
- ・ えきひろで何してるの？と聞く
- ・ えきひろがどう使われているかみんなで観察する！
- ・ 「だべり場」が必要！
- ・ 普段聞きにくい、オフィシャルな活動ならできる？
- ・ 腕章が必要

○アナログのイベントカレンダーをつくる

- ・ 一目でわかるイベントカレンダー
- ・ 旬の花
- ・ 何が今月あるかわかるようにアナログで！

○ラジオ番組をつくる

- ・ 市民とつくるラジオ番組
- ・ サンドイッチマンの病院ラジオのようなイメージ
- ・ 市民同士で見ず知らずの人と話せる
- ・ スポットでラジオ局が出現する

○テーマを設定して、歴史のアーカイブをする

- ・ 緑の特徴
- ・ 花、木などの由来を調べる
- ・ なぜこの花にしたか、前はどうか
- ・ なぜ？を深掘りする
- ・ ラーメン屋、本屋、建物など、誰のためにもならない情報を記録する
- ・ 歴史の計画的保存
- ・ 昔の人の話を残す
- ・ 誰が見るか？

○子どもが育てた植物などへメッセージを送る仕組みをつくる

- ・ 子どもたちが育てた植物をくにたちえきひろ（旧校舎）で配り、QR コードなどの ICT を用いて、子どもたちにメッセージを送る（地域還流）
- ・ 小学校と連携する
- ・ 子どもでなくても良いかもしれない
- ・ 人とのつながりを記録する

○南部地域とのつながりの発信拠点に

○「くにたち曜日市」や「リサイクルマーケット for 植物」の開催

・場があることをしっかり周知できると良い

2 初回の部活の内容を考えよう

いつ	どこで	何を
2026 年 6 月 21 日（日） 10:00～	国立本店 （国立市中 1-7-62）	・出し合ったアイデアを整理する！何をしていくか決める ・何か1つ、みんなでやってみることと、個人でやりたいことを決める